

5・6年 単元名「わたしたちの生活と海」（25時間）

1 単元設定の理由

日本は海に囲まれた海洋国家であり、その恩恵を生活の中のあらゆる場面で受けているが、海から離れた場所に暮らす本校の児童は、その事をあまり実感できていない。海について考えたり調べたりすることで、海についての知識を増やし、大切な海を守っていこうという態度を育む。

2 単元目標

- ・調べたいことを一人一人考え、海に対しての興味・関心をもつ。
- ・海のつくりや生物について理解する。

3 単元の評価基準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
海をつくりや構造、深さ、沿岸の地形等について理解している。 海の生物の生態や食料、生息する環境について理解している。	海をつくりや生物についての問題を見出し、自ら調べる計画を立て、分かりやすいように表現している。	海について考えることを通して学習問題をつくり、主体的に調べる学習に取り組んでいる。

4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	海について考える。 ・わたしたちの生活は海の恩恵を受けていることを確認し、海について改めて考える。	・生活の中で海と関係していることを具体的に示す。
2	海をつくりについて学習問題をつくる。 ・一人一人自分で調べたいことや知りたいことを考え、学習問題をつくる。	
3 ・ 4 ・ 5	海をつくりについて調べる。 ・パソコンや本などの資料を使って自らの問題に対して調べる。	
6 ・ 7 ・ 8	調べたことをまとめる。 ・調べたことを分かりやすいようにまとめ、発表の準備をする。	
9	発表会をする。 ・それぞれが調べたことを発表する。	
10	海の生物について学習問題をつくる。 ・一人一人自分で調べたいことや知りたいことを考え、学習問題をつくる。	・葛西臨海水族園での見学を行うことを話す。

1 1	グループごとに、調べる計画を立てる。 ・何を調べたいかをグループごとに話し合い、見学の計画を立てる。	・学習問題の内容が似た児童同士をいくつかのグループに分けておく。
1 2 ・ 1 3 ・ 1 4 ・ 1 5	葛西臨海水族園で見学をする。 ・グループごとにそれぞれの問題にあった展示を見学する。	・海の生物に対して一層関心をもてるように、水族園の方の話を聞ける機会をつくる。
1 6 ・ 1 7 ・ 1 8 ・ 1 9	調べたことをまとめる。 ・グループごとに調べたことを模造紙にまとめる。	・調べたことがよく伝わるように、ポイントをしぼるように言葉をかける。
2 0	発表の準備をする。 ・それぞれが話す内容を考える。	
2 1	発表会をする。 ・グループごとに調べたことを発表する。	
2 2	発表会の振り返りをする。	・さらに調べてみたいことはないか考えるよう言葉をかける。
2 3 ・ 2 4	海中の微生物の観察をする。 ・顕微鏡を使って一人一人観察をする。 ・観察カードを記入する。	・微生物がたくさんいそうなポイントで海水を採集し、用意する。
2 5	学習のまとめをする。 ・単元を通して学んだことを話し合う。	・それぞれの考えがまとめられるように、ホワイトボードを用意する。

5 成果と課題

○一人一人違った学習問題をつくることで、主体的に学習を進めることができた。

○葛西臨海水族園を見学することで、普段は見られないものが見られたり、理解を深めたりすることができた。

○グループごとに模造紙にまとめる活動を通して、より伝わりやすくするためにはどうしたらよいかを考え、工夫する姿が見られた。

△見学のグループをつくる時に、人数の関係上、一人一人の問題にあったグループがつけられなかった。

△顕微鏡での観察のときに、教師の知識が十分でなく、見えている生物が何なのかをすぐに教えることができなかった。

西一海洋研究所

月 日 No. 1

6年 組 ()

○海とわたしたちのかかわりについて考えよう。

海とわたし

わたしたちの生活は海とは切っても切り離せない関係にあります。

食糧を得ることはもちろん、世界と交易を行う交通の場として、また外国の侵略から国土を守る自然の岩として、あるいは人々の憩いの場として、そして時に自然の猛威にさらされつつも、古来より私たちは海と深く関わり合いながらその社会、経済、文化を発展させてきました。

その海がいま危機に瀕しています。

わたしたちの活動が海に与えるさまざまな影響は、もはや海が本来持っている自然の再生能力を超えたものとなっています。

世界の人口が増加してゆく中で、海への依存は今後ますます大きなものとなるでしょう。

○海に関する課題を考えよう。

これからは海に守られるのではなく、海を守っていくという意識をもつ必要があります。

「海とともに生きる」という姿勢は、未来の社会を担う子どもたちの人間形成の過程において不可欠なものと言えます。

海で学ぶ、海を学ぶ、海に学ぶ。海はさまざまな学びの要素を包んだ魅力ある学習題材です。

わたしたちが海にもっと親しみ、理解を深め、自分たちの力で海を守ってゆく、そんな新しい学びを日本中の学校に広げたいと思っています。

○課題解決のために何をどう調べるかを考えよう。

・何を？

・どのように？

海の生物

海のつくり

○「海のつくり」について調べてみたいことを考えよう。

自分のテーマ

Blank box for writing the theme.

○調べる方法を考えよう。

Blank box for writing the search method.

○調べる計画を立てよう。

Large blank box for writing the search plan.

○調べてみて、わかったこと

Large blank box for writing what was learned after research.

○まとめ

Blank box for writing the summary.

○感想

Blank box for writing the impression.

海の生物

海のつくり

○「海の生物」と聞いて思いつくことを考えよう。

海の生物

○自分のテーマを決めよう。

○調べてみて、わかったこと

○まとめ

○感想